

**2(2)その他, 特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果, 世界的位置付けなど.( 評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)**

**特筆すべき教育活動**

- ・ 植物園の八甲田山分園は, 八甲田山の山麓に位置し, 80年の歴史をもつ高山地域の生態学研究・教育の拠点である. 八甲田山分園では, 学内外からの学生実習の受け入れと支援を行っているが, 高山地域に位置する同種の施設は, 全国的にも数カ所しか存在していない. 2008年度には, 学内から4つの実習, 学外の3大学( 横浜国立大学, 立正大学, 東京情報大学) から3つの実習を受け入れ, 生態学の教育に貢献した.

**特筆すべき研究活動**

- ・ 総合学術博物館では, 新しいインターネット公開技術である「e-Specimen」( 3次元デジタル標本データベース) システムのシステム構築及び標本作成作業を行った. 生物・古生物標本には, 殻形態等の3次元データや内部構造データなどが種の同定のため必要なものが多い. このような標本のデータベースは, 2次元画像のみでは不十分であるが, 実用的な3次元デジタル標本データベースはほとんど例がない. 総合学術博物館ではマイクロCTによるデジタル標本システムを開発することで, この問題の解決を目指しており, 現在有孔虫を題材として, その有効性を検証するための公開実験を行っている.

**特筆すべき社会貢献活動等**

- ・ 休日開館の試行( 史料館)  
史料館では, 従来から利用者の要望が出されていた土日・祝日開館を, 企画展が開催された10・11月の二ヶ月間にわたって試行し, 平日に比し3倍程度の入館者を得るなど大きな効果を得た.
- ・ ウェブサイトの充実による情報公開の促進  
センターでは, センターホームページの開設, 各業務組織のホームページの更新, データベース公開などを行い, センター事業に就いての情報公開の促進を図った. センターホームページの20年度の総アクセス数は93,988件, アクセスページ数は305,954件であった.
- ・ 植物園の日の実施  
5月4日みどりの日が「植物園の日」と定められたことに合わせ, 植物園主催, 日本植物園協会後援で「5月4日は植物園の日, ふるさとの植物を守ろう」というイベントを行った. 当日は裏千家による野点, 朗読会, ミニコンサートなどが行われ, 市民が思い思いに植物園の豊かな自然を楽しんだ. 1,582名という1日としてはこれまでに最も多い入園者があり, 植物園の公開促進, 地域教育・文化への貢献, 地域住民と一体感のある大学づくりへの貢献につながった.
- ・ 紅葉の賀  
11月3日( 文化の日) に植物園, 文学研究科と共催で, 市民オープンキャンパス「紅葉の賀」を行った. 当日は, 野点( 植物園), 文学研究科と植物園の教員らが園内の植物・史跡を案内するガイドウォーク( 植物園), 公開講演会( 川内萩ホール), 高校生のエッセーコンテスト( 川内萩ホール) を行い, 多数の市民が参加した.